

不易流行 恩送り

ライオンズクラブ国際協会 335-D

キャビネット通信

DISTRICT 335-D



熱く・明るく・楽しく

Vol 5 2023年10月

本キャビネット通信は不定期発行です

2023年～2024年

本通信は情報の伝達のために発行しております。内容詳細やガバナーの想い、ガバナーの熱意については、担当ゾーン・チェアパーソンからお受け取りください。

実出席100%例会 進行中!!

governor 廣田 晃一からのメッセージ

- ① ガバナー公式訪問もそろそろ終わりが見えて参りました。懇談会では皆様から本当に忌憚のないご意見をたくさん頂戴し、改めて「ライオンズの在り方」に対する熱い想いに触れさせていただくことができました。そして、「みんなで集まることの大切さ」についても多くのご賛同の声を聞かせて頂きました。いっぽうで、「寝た子を起こす」という趣旨のご意見もございましたが、日ごろのメイクアップ出席から一步踏み込んだ全員出席のお願い連絡をみんなで行ったクラブもあり、やってみたら案外良かった・・・というご意見もたくさんいただいております。
- そんな中、ある若いメンバーさんから、こんな質問を頂きました。
 「昔は、奉仕活動をしたい...と思いついてもライオンズクラブとかに入らなければ奉仕活動ってなかなか出来なかったのかも知れないし、だからこそ世間からもある種の尊敬を集めることが出来たのかも知れませんが、今はSNSがあります。
 ネット上で『〇〇について奉仕したいと思う人、一緒にやりましょう!』って呼びかければ日本全国から参加者が集まり、何ならクラウドファンディングで資金も集められる。
 例会に運営費を使う必要もなければ、先輩から堅苦しい意見を言われることもなく、それこそ100%の資金を奉仕活動に使うことが出来・・・なのに、なぜいまライオンズクラブなんですか?」
 ...これをお聞きして、不易流行の「流行(変わっていかねばならない)」最たる部分だと感じました。そして、私はその答えが「不易」の部分にあるように思います。
- つまり、時代が変わっても変えてはいけないもの・・・We Serve「我々は奉仕する」の「我々」です。SNSで集まった志を同じくする人たちも「我々」かも知れませんが、永きに渡っていろんな経験を共にし、衣食を共にしてきた「ライオンズ我ら」とは少し違うような気がします。
- 私たち「ライオンズ我ら」は 日々の運営の中から「我々」の気心を知り、知ってもらいながら奉仕のベクトルを徐々に揃えて、最終的にひとつの奉仕事業を成功に導く・・・
- ライオンズクラブの活動は「我々」の絆が極めて深いところからスタートしており、そこから開いた花は、ある種の自信と連帯感に裏打ちされたライオンズだけの花・・・そんな気がします。その「我々」の絆の深さを育てるには まず「みんなで集まってみましょうよ!!」だと思います。ライオンズクラブの「我々」をベースにして、積極的にSNSの利点も取り込んで行きたいですね。



実出席100%例会にチャレンジ!! 達成クラブが続々と・・・(すでに二桁のクラブで前期分達成!!)